

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和3年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

参考資料2

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)						連携市町評価							令和3年度高松市取組実績	令和3年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和3年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
1 圏域全体の経済成長のけん引	ア	産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備	1	圏域全体の経済成長のけん引等に係る連携事業数	事業	16	15	93.8	R5年度までに、4事業を追加することとしており、計画期間後半の4年間で2事業の追加を目指す。R3年度は、R4年度以降で1件追加となったが、「圏域全体の経済成長のけん引分野」以外の新規となったため事業数の増加には至らなかった。	A	B	A	A	B	A	B	A	コロナ禍を踏まえ、Web会議を利用して瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会や瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会等を開催した。	【さぬき市】ビジョン懇談会等に参加した。 【東かがわ市】瀬戸高松中枢都市圏ビジョン懇談会等で産学金官民連携の懇談会を開催する【土庄町】高松市が中心となり、産学金官民一体となったビジョン懇談会の運営等を行った。 新型コロナウイルス感染対策のため、Web会議にて開催した。 【小豆島町】WEB懇談会に参加。 【三木町】懇談会の設置・運営等に関し、必要な協力を行う。 【直島町】事務局会、ビジョン懇談会等に参加した。 【綾川町】ビジョン懇談会など積極的に参加できた。
			2	幅広い層が集まる「場」づくり事業	件	4,500	4,909	109.1	H29年度実績（訪問者数）をベースに、圏域人口（ビジョン目標）の1%を最終年度の目標とし、漸増を目標とする。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による移動制限がかかるなどの理由で、アクセス数が目標値を超えなかったが、令和3年度は、目標値を超えた。これは、新しい生活様式が定着してきているものと考えている。	A	B	B	A	B	B	C	C	H28年度に構築した、ポータルサイトについて、適切な保守・管理を行いながら、都市圏ビジョンに基づく取組や本市及び連携市町の魅力の発信を予定していたが、新型コロナウイルスの影響によりイベント等が中止となるものがあったが、新しい生活様式が定着してきたのか、3密を回避したり、規模を縮小するなど工夫したことで目標値を超える結果となった。	【さぬき市】ビジョン懇談会等に参加した。 【東かがわ市】ビジョン懇談会での協議を行った。 【土庄町】瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトのPR 【小豆島町】WEB懇談会に参加。 【三木町】会議の設置・運営等に関し、必要な協力を行う。 【直島町】コロナの影響もありイベントが中止になったため、イベント情報の掲載ができなかった。 【綾川町】コロナ禍ということもあり、イベント等の開催がほとんどなかったため活用の実績なし。
	イ	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	3	中小企業経営力強化事業	人	2,450	666	27.2	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による移動制限がかかるなどの理由で、アクセス数が目標値を超えなかったが、令和3年度は、目標値を超えた。これは、新しい生活様式が定着してきているものと考えている。	D				B	B			高松商工会議所と共催で経営講習会を行い、中小企業経営の近代化・合理化並びに従業員の資質向上に努めた。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、例年よりも受講者が大幅に減少した。	【土庄町】実績なし。 【小豆島町】講習会開催に関する町内事業者への周知を行った。
			ウ	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	4	ブランド農産物育成支援事業	千円	9,000	0	0.0	〇R3年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。	D	C	C	B			B	R3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、たかまつ食と農のフェスタの開催は休止した。
	5	ふるさと納税に係る共通返礼品の検討	品	3	6	200.0	連携市町共同で圏域の地場産品を活用した共通返礼品を検討する。 各市町において一定数の寄附申込があったことから、圏域の地場産品のPRにつながった。	A	B	A	B	A	A	C	B	令和2年度に設定した3点の共通返礼品を継続して掲載するとともに、新たにセットの返礼品2点と観光プランの返礼品を設定した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光プランは掲載保留とした。	【さぬき市】共通返礼品の追加掲載及び観光プランの案を企画した。 なお、観光プランについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、R3年度中の掲載には至っておらず、R4年度に掲載を行う予定である。 【東かがわ市】共通返礼品について、8市町でオンライン協議を行った。ハマチ三兄弟など新たな共通返礼品の案もあったが取扱い可能な事業者がおりず掲載には至らなかった。また、既存の返礼品に加え地酒セットや観光プランなど各市町の魅力を伝える返礼品の追加・検討を進めることができた。 【土庄町】・うどん食べ比べセット・いちご食べ比べセット・人気調味料詰め合わせセットの3品を共通返礼品として運用。 【小豆島町】各自治体の契約サイトに共通返礼品（酒類を追加）を掲載した。 【三木町】共通返礼品2品開発 ・讃岐の地酒セットA ・讃岐の地酒セットB 合計寄附実績127件/3,262千円 【直島町】うどんセット、いちご食べ比べセット、調味料セットに続き、地酒セットなどを導入したが利用者は少なかった。 【綾川町】共通返礼品5品		
	工	戦略的な観光施策	6	誘客促進事業観光連携協議会等の設置・運営	千人	6,605	3,710	56.2	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げており、そこから中間目標値として設定。 【目標値に対する実績の理由】 情報発信等の広域的な観光PRを行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、移動制限や施設閉鎖の対応を取らざるを得ず、観光施設等利用者数も大幅に減少した。	C	B	B	D	D	B	C	D	新型コロナウイルス感染症の影響により、担当者協議を行うことができなかったが、連携市町における各担当者間において、各市町の取組等について情報共有を図った。	【さぬき市】取組実績なし (観光振興協議会の開催がなかった。) 【東かがわ市】協議会は設置されたがコロナの影響等もあり開催には至らなかった 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】取組なし。 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】R3年度は観光振興協議会等に出席できていない。 【綾川町】協議会の開催がなかったため、取組実績はなし。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和3年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

参考資料2

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価							令和3年度高松市取組実績	令和3年度連携市町の取組実績	
			KPI	KPI説明	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和3年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町
	7	国内誘客促進事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,605	3,710	56.2	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げており、そこから中間目標値として設定。 【目標値に対する実績の理由】 情報発信等の広域的な観光PRを行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、移動制限や施設閉鎖の対応を取らざるを得ず、観光施設等利用者数も大幅に減少した。	C	B	B	B	B	B	B	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、連携した取組はできなかったが、各市町において誘致活動を行うとともに、広域でのプロモーションを行う場合には、連携市町間で情報共有を図った。	【さぬき市】取組実績なし。 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、県外からの誘客促進に係る取組は困難であった。 【東かがわ市】R1年度に観光基本計画を策定し、本市の観光協会を中心に誘客促進の取組を行っているが、圏域内の観光部署や組織との連携が図られていない 【土庄町】HP・SNSを利用して観光情報を発信した。 【小豆島町】高松空港の国内線発着口において、小豆島の特産品や観光情報についてPRを行い、高松を訪れた観光客の小豆島への誘致を促進できた。 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】宮浦港港湾施設のパトロール、イルミネーションの実施。 【綾川町】HPやSNS、広告等で、町内の魅力を発信し、国内の誘客に努めた。
	8	海外誘客促進事業	香川県外国人延べ宿泊数	香川県内の外国人延べ宿泊者数	人	700,000	13,870	2.0	【目標の設定方法】 政府目標である「訪日外国人数を2020年に4000万人」の伸び率を上回る宿泊者数の増加を目指す。 【目標値に対する実績の理由】 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、東アジア4路線が休止したことによって宿泊者数が大幅に減少した。	D	B	B	B	B	C	B	引き続き、高松空港と定期航路で結ばれた台北・上海・ソウル・香港からの観光客を誘致するため、公益社団法人香川県観光協会に対し補助を行った。	【さぬき市】取組実績なし。 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、海外客促進に係る取組は困難であった。 【東かがわ市】R1年度に観光基本計画を策定し、本市の観光協会を中心に誘客促進の取組を行っているが、圏域内の観光部署や組織との連携が図られていない 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】高松-小豆島間での周遊クルーズなど、インバウンド向けのモニターツアーの実施を予定していたが、コロナの感染拡大により中止となった。 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】企業（ハネッス等）が誘致を推進しているため、町としては事業を展開していない。 【綾川町】新型コロナウイルスにより、海外からの旅行者がストップしてしまったため、今後規制が緩和された時期に向けての準備を行った。
	9	国内外観光客向け情報発信事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,605	3,710	56.2	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げている。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休園・休館、移動制限や入国制限により、市内の主な観光施設等利用者数が大幅に減少した。	C	B	B	A	B	C	A	本市多言語観光サイト「エクスベリンス高松」において、海遊びやご当地土産をテーマにした記事の中で、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の自治体に関する情報を多言語にて掲載した。 これまでの取組により、認知度の向上及びページビュー数の増加はもとより、新規ビューアに止まらず、リピーターの獲得ができてはじめた。	【さぬき市】「エクスベリンス高松」の特集ページにおいて、本市内の体験プランが掲載された。 【東かがわ市】R1年度に観光基本計画を策定し、本市の観光協会を中心に誘客促進の取組を行っているが、圏域内の観光部署や組織との連携が図られていない 【土庄町】HP・SNSを利用して観光情報を発信した。 【小豆島町】高松空港の国内線発着口において、小豆島の特産品や観光情報についてPRを行い、高松を訪れた観光客の小豆島への誘致を促進できた。 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】HP・観光マップの配布などで情報を発信した。 【綾川町】新たに旅行ガイドブックの記事掲載に取り組んだ。
	10	瀬戸内国際芸術祭推進事業	-	-	-	0	0	0.0	0	A					A	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、ART SETOUCHI 2021の開催と、瀬戸内国際芸術祭2022開催に向けた準備を行った。 【土庄町】恒久的に設置している作品について、維持管理を行うとともに、パンフレットを配布し、情報発信も行った。 【小豆島町】コロナ禍ではあったが、既存作品の展示継続や周辺環境を整備し、瀬戸内国際芸術祭2022の開催に向けた準備を行った。 【直島町】瀬戸内国際芸術祭2022にむけて関係機関との調整。		
	11	新たな観光プランの企画、販売等	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,605	3,710	56.2	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げている。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響により、ぶち旅プランの約半数が催行中止となり、また観光施設等利用者数も大幅に減少した。	C	B	B	B	B	C	B	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興のため、(公財)高松観光コンベンション・ビューローが造成する「ぶち旅プラン(着地型旅行商品)」の企画・販売事業を支援した。 コース数 9コース 参加者数 84名 (悪天候及びコロナ禍のため、全15日の催行日の内、7日は実施できず)	【さぬき市】「ぶち旅プラン(着地型旅行商品)」(公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローが主体)のパンフレットにおいて、さぬき市の体験3コースが掲載された。 【東かがわ市】R1年度に観光基本計画を策定し、本市の観光協会を中心に誘客促進の取組を行っているが、圏域内の観光部署や組織との連携が図られていない 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】本町の取組実績なし。 【三木町】情報収集及び情報発信 【直島町】圏域内での取組について、具体的な取組に至っていない。 【綾川町】新型コロナウイルスの感染拡大のため、新たな企画には至らなかった。
	12	イベント交流の促進	まつり・イベント入込み客数	観光客誘致に資するまつり・イベント実行団体発表の入込み客数をカウント	人	893,000	3,680	0.4	【目標の設定方法】 より効果的な周知宣伝活動により、イベント入込客数について、5年後に1割増を目標に掲げ、設定。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、入込数は目標を下回った。	D	B	B	A	B	B	C	B	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ほぼ全てのイベントが中止となった。開催したイベントに関しては、SNSを利用した周知宣伝活動等により情報提供を行った。 瀬戸内海タートルフルマソン全国大会 中止 【小豆島町】各種イベントが実施できなかった。(中止) ・マソン大会 0人 ・千枚田虫送り 0人 ・小豆島まつり 0人 【三木町】新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベント中止 【直島町】圏域内での取組について、具体的な取組に至っていない。 【綾川町】新型コロナウイルス感染拡大により、実施できなかった。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和3年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

参考資料2

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)						連携市町評価						令和3年度高松市取組実績	令和3年度連携市町の取組実績					
			KPI	KPI説明	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和3年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町		
	13	デリバリーアート事業	鑑賞者数	参加を希望される協力団体の提供場所の規模により、鑑賞者数に偏りがあるため、鑑賞者数では判断しきれない。限られた予算の中で、公演の質の維持と事業を継続していくことを重点に実施する。	人	2,100	488	23.2	事務事業評価と合わせた鑑賞者数で目標設定を行う。新型コロナウイルス感染症の影響により、鑑賞者数は目標値を下回ったものの、開催した団体からは好評であるため再度実施したいという要望が多く、満足度は高い。また、市民の身近なところで文化芸術に触れる機会を提供するという事業目的も達成している。	D	B	B	B			A	新型コロナウイルスの影響により、延期又は中止が発生したものの、感染症対策を講じながら、令和3年10月から令和4年3月までの期間で、瀬戸フィルアンサンブル演奏、和太鼓、落語、ストロー笛やグラスハーブ、邦楽のコンサートの6メニュー、16公演を実施した。なお、このうち3公演は動画視聴に代えて対応した。また、このうち圏域内では、東かがわ市で3公演、綾川町で2公演を実施した。	【さぬき市】新型コロナウイルス感染症の影響によりなし。 【東かがわ市】瀬戸フィル音楽会及び讃岐国分寺太鼓の公演を開催した。計3公演開催し、新型コロナウイルス感染症対策として来場者を制限しながらも多数の市民が参加した。 【土庄町】印刷段階まで進んでいたが、コロナ禍により中止となった。 【綾川町】2回実施。 内容：瀬戸フィル音楽会 日時：R3年11月28日 14時から 場所：綾川町立滝宮公民館 来場者数：約30人 内容：讃岐国分寺太鼓 日時：R3年12月12日 10時から 場所：綾川町立山田公民館 来場者数：約30人			
	14*1	文化芸術鑑賞等の機会の提供	鑑賞者数(劇団四季ミュージカル鑑賞)	児童、先生を合わせた鑑賞者数(連携市町分含む)高松市と連携市町の全6年生を招待しているため、児童数と引率教員数が鑑賞者数となる。平成25年～27年の平均鑑賞者数を基に目標比を算出する。(H25:4,985人、H26:5,323人、H27:5,143人)	人	5,117	3,920	76.6	直近3年の平均鑑賞者数を基に目標値を算出する。児童数と引率教員の合計数がそのまま鑑賞者数となるため、その年の児童数の増減による。なお、令和2年度は実施を見合わせたため、平成29年度～平成31年度の平均鑑賞者数を目標値とする。	B	B	B	B	B	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、公演動画の提供に代えた。実績値は動画鑑賞者数である。 【さぬき市】劇団四季「こころの劇場」ミュージカルの映像視聴を実施 ※市内5小学校(津田、志度、さぬき北、長尾、造田) 【東かがわ市】文化芸術鑑賞の場の提供は他地域との連携事業として同内容のものを実施している。教育プログラムの都合上併用は難しく当該圏域による事業実施にはつなげていない。 【土庄町】新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた劇団四季ミュージカル公演が中止。 豊島小学校のみDVDによる動画鑑賞 【小豆島町】町内4小学校の6年生が、劇団四季ミュージカルをオンラインにより鑑賞した。 【三木町】町内全小学校(4校)の6年生が、動画での劇団四季ミュージカルの鑑賞を行った。 【直島町】動画視聴人数22人(6年生 児童21人、担任1人) 【綾川町】オンライン鑑賞により、町内の全小学校6年生が視聴できた				
	14*2	文化芸術鑑賞等の機会の提供	参加校数(美術館学習)	参加校数	校	35	18	51.4	H28年度実績(32校)を基に設定。新型コロナウイルス感染症の影響により参加校数は伸びなかった。	C	B	B	B	C	B	C	C	高松市内の小中学校に美術館学習の周知を行い、参加を希望する学校に対して、美術館での鑑賞学習及び施設見学等を実施した。また、高松市内及び連携する市町圏域内の小・中学校に特別展チラシを配布し、美術鑑賞の機会を設けた。また、オンラインで美術館と学校を結ぶ遠隔授業を、希望のあった学校に対して実施した。 【さぬき市】取組なし。 →主に校外学習において美術鑑賞等を実施している小中学校もあるが、令和3年度は感染症対策として、屋外施設や児童生徒が密にならないような施設を主に活用しており、高松市立美術館の活用はなかった。 【東かがわ市】既存の授業日程の都合上利用が難しく事業実施にはつなげていない。 【土庄町】新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた劇団四季ミュージカル公演が中止。 【小豆島町】実績なし。 【三木町】取組実績なし。 【直島町】取り組み実績なし。(参加の呼びかけに至っていない。) 【綾川町】鑑賞校なし			
	15	観光バリアフリーのためのUDマップ作成・活用事業	UDマップ掲載HP閲覧数	連携中枢都市圏のHPにUDマップを掲載する予定のため、掲載後のHP閲覧者数をKPIとする	件	24,600	98,405	400.0	UDマップを導入した翌年度(R1年度)の閲覧件数を基準に、R5年度までに毎年120件ずつの増を目指すこととしている。目標達成理由としては、2021年のオリンピック・パラリンピックを契機に、UDへの関心が高まったことや、ホームページ等を通じての広報活動効果があったことが要因の1つと考えられる。	A	B	A	B	A	A	B	A	UDマップの掲載内容を充実させるため、事業連携について申し出のあった県内の高等学校が学習の一環として、同校周辺地域の店舗の調査・登録依頼を行った。なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況や感染拡大防止の観点から、積極的にUDマップへの登録依頼は控えた。 【さぬき市】高松市のホームページに掲載されている。 【東かがわ市】連携中枢都市圏のHPに市内施設の情報を提供した 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】UDマップ掲載HP上に掲載。 【三木町】UDに対応した施設等の情報提供及び発信。 【直島町】年度末現在、12施設が登録している。 【綾川町】新たに追加した項目はない。			
2	高次の都市機能の集積・強化	A	高度な医療サービスの提供		16	医療人材の確保・育成	看護師等養成所卒業生の資格取得率	看護師等養成所の運営に対して助成を行い、卒業生の資格取得率の向上を図ることで、新たな医療人材の確保を達成する。	%	100	94	94.0	平成28年度から最終年度まで卒業生全てが資格を取得すると想定し、100%を目標値として設定している。令和3年度は卒業生のうち94(100人中94人)が資格を取得することができた。	A							【三木町】看護師及び准看護師の養成所(高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属看護学院)の運営費の一部を助成することにより、医療人材の確保を図った。
			17	医療職員の交流等	地域医療連携カンファレンス・セミナーにおける高松市外参加者数	地域の連携医療機関の医師との医療連携を進めるため、地域医療連携カンファレンス・セミナーを開催し連携強化に努める	人	20	31	155.0	コロナ禍2年目であり、予定した「地域医療連携カンファレンス」は高松市の感染拡大・蔓延防止期間中であつた。参加型のカンファレンスは中止を余儀なくされたものの症例検討セミナーについては、オンライン開催により医療職員の交流を図った。	A	B		B	B	B	A	令和3年度の計画として令和4年2月3日に予定したカンファレンスは中止であつた。また開催を延期し、令和4年度で予定したい。開催した症例検討セミナー参加人数：対象地域4名、その他の地域27名、合計31名。 【さぬき市】高松市立みんなの病院主催にて、徳島大学大学院胸部内分秘腫瘍外科分野教授を招くなどし、地域医療連携カンファレンスを1回、地域医療連携セミナーを9回開催された。 【土庄町】社会福祉士1名が参加 【小豆島町】社会福祉士1名が参加 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【綾川町】高松市在宅医療コーディネーター養成研修に参加1名・セミナー等に参加		

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和3年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

参考資料2

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)					連携市町評価						令和3年度高松市取組実績	令和3年度連携市町の取組実績							
			KPI	KPI説明	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和3年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町			小豆島町	三木町	直島町	綾川町			
イ 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	18	ICカードを利用した公共交通利用促進事業	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、ICカード「I r u C a」を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	2	3	150.0	周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。R3年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	A	B	B	A	A	A	A	R3年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】R四国各駅での利用・導入に係る検討状況等について協議した。 【土庄町】航路及び路線バスの利便性向上を図るため、バス及び航路でICカードが利用できる旨の周知広報及び運転免許証自主返納支援事業としてICカードの発行を引き続き行った。 【小豆島町】小豆島オーリーブス及び町営バスにおいて、「I r u C a」に加えて、「10カード」を導入した。 【三木町】ICカード導入に向けた協議及び導入することができた。 【綾川町】ゴールドイカ事業を継続実施。 セーフティイカ（70歳未満の運転免許証返納者）へのサービスも継続実施。				
	19	大学等と連携した、将来の圏域を担うリーダーの育成	大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数	事業	111	138	124.3	年間3事業ずつ連携事業数を増やし、R5年度までに110事業を目指す。R3年度は、新型コロナの影響においても「新しい生活様式」を踏まえた取組が定着してきたことから事業数が目標を超えることとなった。引き続き、更なる連携に向けて取り組んでいきたい。	A	B	B	B	B	C	B	新型コロナウイルスの感染症の影響により、トピタテ！留学ジャパン「香川地域人材育成コース」による留学生派遣事業及び香川大学が行っている東京圏と香川の学生の対流促進事業は中止となったが、学長・校長と市長との懇談会をwebで実施し、各大学等のコロナ禍における産学官連携・広域連携によるDXの推進等について意見交換を行った。	【さぬき市】職員の香川大学地域マネジメント研究科での就学を支援している。 【東かがわ市】本市の就職推進センターが大学のキャリアセンター等と連携し、学生の圏域内企業への就労に向けた支援を行っていた。 【土庄町】連携事業の実施には至っていないが、町として各大学と域学連携事業を行った。 ※コロナウイルス感染対策のため、リモートで実施した。 【小豆島町】イベントの実施、地元企業へのインターンシップ、ワーケーション実証実験事業等に参画。 【三木町】庁内各課に香川大学との連携事業について照会をかけ、改めて連携事業数を把握。 【直島町】直島町まち・ひと・しごと創生推進会議委員等、町単独での取り組みは香川大学と実施しているが、圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】多文化共生とまちあるきにおいて、学生プロジェクトと連携し、事業を実施した。				
	20	産学官連携推進事業	大学及び企業等との連携事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業等との連携事業数	事業	165	226	137.0	大学等との連携・協力事業数及び包括連携協定等を締結する企業等との連携事業数の合計とし、R5年度までに170事業を目指す。R3年度は、新型コロナウイルス感染症の対策に配慮しつつ、目標を達成した。	A	B	B	C	C	A	C	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、連携事業の約3割が十分に実施できなかった。また、新たな包括連携協定に向けて、2者と協議・調整を行った。 包括連携協定締結後、各連携事業が形式的に実施されたり、終了されたりするなどの課題もある。	【さぬき市】1大学、2企業と新たに包括連携協定を締結した。 【東かがわ市】市独自で香川大学との域学連携を継続しているが本市の活性化のみを協議、検討している。 【土庄町】連携事業の実施には至っていないが、町として各大学と域学連携事業を行った。 ※コロナウイルス感染対策のため、リモートで実施した。 【小豆島町】取組実績なし。 【三木町】地域公共交通の項目で連携事業を実施。 【直島町】直島町まち・ひと・しごと創生推進会議委員等、町単独での取り組みは香川大学と実施しているが、圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】多文化共生とまちあるきにおいて、学生プロジェクトと連携し、事業を実施した。また多文化共生分野については、企業と協力して事業を進めることができた。			
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	(ア) 地域医療	イ	21	データ利活用型スマートシティ推進事業	連携して収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	IoT共通プラットフォームを活用して、各市町と連携し、収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	分野	2	1	50.0	R5目標である4分野に対し、R1・2年度は1分野、その後1分野/年ずつ連携する分野を追加していく計画で目標を設定。	C	B	A	D	B	C	A	本市のIoT共通プラットフォーム（FIWARE）の共同利用について、綾川町と締結している協定に基づき、R2年度に引き続き防災分野において、水位計データや降水量データ等の共有・可視化等を実施中。（なお連携中枢都市圏以外で観音寺市とも共同利用を実施中。）	【さぬき市】事務局会での情報交換を行った。 【東かがわ市】瀬戸・たかまつネットワークの関係者による情報連携 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】高松市との連携体制の構築。 【三木町】関係者間の調整を行った。 【直島町】運用コスト面など引き続き検討を行った。 【綾川町】出水期において避難指示を発令するような事例がなかったため、実績としては特になが、水位監視と監視カメラは正常に稼働している。	
				22*1	高松市立病院運営事業	紹介率（市民病院）	患者の紹介・逆紹介等の実施により、圏域の医療提供体制の充実が図られるとともに、連携町からの患者を受け入れる。	%	50.0	70.6	141.2	地域医療支援病院の承認要件である紹介率50%以上、逆紹介70%以上。	A			B	B	B	A	B	コロナ禍で紹介状を持参しない新規での患者数の増加があり、一時的な月において紹介率が低下したが、1年間の平均では70.6%であり、50%以上を維持できた。	【土庄町】当院からの紹介12件、逆紹介5件 【小豆島町】当院からの紹介12件、逆紹介5件 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【直島町】5件 【綾川町】みんなの病院への紹介は1件となっている。
				22*2	高松市立病院運営事業	逆紹介率（市民病院）	患者の紹介・逆紹介等の実施により、圏域の医療提供体制の充実が図られるとともに、連携町からの患者を受け入れる。	%	70.0	84.8	121.1	地域医療支援病院の承認要件である紹介率50%以上、逆紹介70%以上。	A			B	B	B	C	B	コロナ禍で紹介状を持参しない新規での患者数の増加があり、一時的な月において紹介率が低下したが、1年間の平均では84.8%であり、70%以上を維持できた。	【土庄町】当院からの紹介12件、逆紹介5件 【小豆島町】当院からの紹介12件、逆紹介5件 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【直島町】実績なし。 離島であるため、島民以外の逆紹介は難しいと思われる。 【綾川町】16名の紹介があった。
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	(ア) 地域医療	イ	23	救急医療体制の確保	市民満足度における「医療体制の充実」の満足度	休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図ることで、市民が安心して暮らすことのできる環境づくりを目指す。	%	44	43	97.5	平成28年度から毎年度0.6%ずつ上昇させ、最終年度に45.3%の目標値を設定している。令和3年度市民満足度調査の結果において42.8%であった。	A					A	A	A	地区医師会への在宅当番医制の委託、歯科救急医療センターにおける休日・夜間歯科診療運営事業への助成、病院群輪番制病院運営事業に対する助成及び夜間急病診療所の指定管理者による運営により、休日・夜間における初期及び二次救急体制の確保を図った。	【三木町】在宅当番医制事業運営費等負担金（木田郡医師会・木田郡歯科医師会） 病院群輪番制運営費負担金 病院群輪番制病院設備費負担金 【直島町】休日在宅当番医制及び病院輪番制ならびに高松市歯科救急医療センターの運営について支援を行った。 【綾川町】参加医療機関数 16 年間救急患者数 1, 425人（うち転送患者数40人）

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価						令和3年度高松市取組実績	令和3年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和3年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町
	24	救急艇の活用	-	-	-	0	0	0.0	0	A			A	A		C	小豆島中央病院からの要請により、土庄港及び池田港からの救急搬送実績あり。	【土庄町】救急艇搬送実績 土庄町住民 33件 小豆郡以外住民 1件 【小豆島町】搬送実績 土庄町：26件 小豆島町：19件 他市町：3件 【直島町】夜間の高松方面へ搬送する場合について利用を検討した。
	25	島しょ部（土庄町及び小豆島町）への医師派遣事業	医師派遣件数	医師の派遣に関する協定に基づく、派遣件数	件	0	0	0.0	高松市立みんなの病院の医師を、島しょ部である小豆島町の自治体病院に派遣した回数	D			D	D			取組実績なし (小豆島中央病院からの派遣要請が、平成29年度末で、一旦終了したため)	【土庄町】実績無し 【小豆島町】実績無し
	26	遠隔医療ネットワークを使った連携	医療情報公開実績件数（H28からの累計）	患者さんの同意に基づき、参加医療機関からの求めに応じた診療情報（画像・カルテ等）の公開件数 年50件、H28～H35までの8か年の累計	件	50	90	180.0	過去実績等を踏まえた目標設定に対し、引き続き開業医への訪問時等の機会を捉え、K-MIXの利用促進を図ったことにより、実績は目標を上回った。	A	A		C	C	B	B	かかりつけ医との情報共有を図ることにより、地域における高度かつ効率的な医療の提供に貢献した。	【さぬき市】令和2年度繰り越した事業については、令和3年9月13日にシステムの完成及び運用開始をし、大学病院をはじめとした他医療機関との連携を図り運用している。 【土庄町】実績無し 【小豆島町】実績無し 【三木町】なし 【綾川町】0件
	27	「地域包括ケア病棟」運用事業	在宅復帰率	地域包括ケアシステムの中で、その一翼を担うため、地域包括ケア病棟の開設し、患者の在宅復帰支援を行う。（在宅復帰率）	%	70	82	117.1	在宅復帰率は施設基準上の指標であり、在宅復帰率7割を満たすことが必須である。	A	A		B	B	B	B	地域包括ケアの後方支援を強化するため、「地域包括ケア病棟」を設置するとともに、入退院支援や在宅医療支援、医療福祉相談などを一元化して提供できるよう「地域医療・患者支援センター」において、急性期を脱した患者の在宅復帰を支援した。	【さぬき市】地域包括ケア病棟の運用において、早期から看護師や理学療法士等が患者に関わることにより、積極的な在宅支援に努め、在宅復帰率の向上を図った。 【土庄町】高松市立みんなの病院の実績であるため評価無し。 【小豆島町】高松市立みんなの病院の実績であるため評価無し。 【三木町】取組みがないため評価なし 【綾川町】地域包括ケア病棟を活用し、在宅復帰のに向けた取組みに努めた。
	28	がん検診の広域化	高松市医療機関でがん検診を希望した者のうち、検診受診につながった者の割合	高松市医療機関でがん検診を希望した者のうち、検診受診につながった者の割合	%	100	100	100.0	高松市の医療機関で子宮頸がん・乳がん検診の受診を希望した連携町の住民が、全員受診できることを目標としている。 高松市における検診希望者が少なく、評価が困難であった。	A					A	新型コロナウイルスの影響で、受診控えがある上に、町外への外出控えが影響し、連携市町の住民が、高松市の医療機関で受診結果は、子宮頸がん（1人希望/1人受診）・乳がん検診（1人希望/1人受診）であった。	【直島町】受診を希望する方が希望医療機関で受診ができるよう受診予約調整を行い、受診につながるよう支援を行った。 受診人数の減少は、新型コロナウイルス感染症による受診控えが原因と考えられる。	
(イ) 介護	29	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業	当該事業所周知率	当該サービス事業者の指導・監督権限を有するため周知を行った割合	%	100	100	100.0	当該サービス事業者の指導・監督権限を有する施設を目標値とし、周知を行った件数を元に評価した。	A					C	高松市地域密着型サービス事業者指定に係る制限に関する要綱において、本市域内の地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）については、原則、本市転入後6ヶ月を経過しない者の利用又は入居はできないが、当該サービス事業所がない直島町からの転入者には、6ヶ月が経過していても利用又は入居できる運用とする。	【直島町】当該地域への認知症対応型共同生活介護への入所希望の相談件数は0件。	
	30	在宅医療・介護連携推進事業	医療・介護関係者が多職種連携についてできていると評価した点数（10点満点）の平均	多職種連携研修等に参加している専門職による、地域の多職種連携構築度評価の平均得点（最高10点、最低0点）	点	7	5	78.5	多職種間での連携体制を構築することを目標としているが、これまで連携が取りづらい状況にあった職種については、ミーティング等を通して連携体制の構築を図っている途中であることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、関係者間の十分な連携が取りづらい状況であったこと等から、成果があらなかった。	B					B	C	在宅医療・介護連携推進事業の8事業項目において、更に内容を充実させるため、下記の事業に取り組んだ。 ・在宅ケア便利帳（Web版）の維持・管理 ・在宅医療支援センターの運営 ・入退院支援ルール及び情報共有シートの周知・啓発 ・ACPの普及・啓発及びコーディネーターの養成	【三木町】普及啓発講演会が中止になったり、協議会の集合実施が予定通りできなかったが、本協議会のホームページ（医療・介護資源リスト等）の掲載情報の追加、修正や、情報共有ツールとしての三木までが手帳の見直し等の検討、医療・介護連携相談Q&Aの作成等を行った。 【直島町】関係者会に参加し、情報交換を行った。

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)						連携市町評価						令和3年度高松市取組実績	令和3年度連携市町の取組実績				
			KPI	KPI説明	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和3年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町	
	31	地域包括支援センター運営事業	自立高齢者率	介護・支援を必要としない65歳以上の高齢者の割合(%)	%	82	79	96.8	圏域内の市町と情報交換会を開催し、地域包括支援センターの運営に関する取組について意見交換やノウハウを共有することで、自立高齢者率向上の一助となった。	A	B	A	B	B	A	A	B	情報交換会をWEBにて開催し、コロナ禍におけるフレイル対策や重層的支援体制整備事業の進捗状況等、喫緊の課題について情報共有や意見交換等を行った。	【さぬき市】介護予防教室 いきいき健康教室 190回/年 元気のからくり教室 492回/年 新型コロナウイルス感染症予防のため、一年のうち5か月間は教室が中止となった。 ・介護予防サポーター活動回数 1回/2か月程度 新型コロナウイルス感染症予防のため、1年のうち半分の活動が中止となった。 【東かがわ市】地域包括支援センターにかかる情報交換会に1回参加 【土庄町】1名参加 【小豆島町】高松市の呼びかけにより事前議題提出。WE B会議にて2名出席し、各市町の状況が確認できた。 【三木町】Web会議であったが、事業ごとに他市町の状況が事前調査資料でまとめられ、非常に参考になった。 【直島町】情報交換会(1回)に出席した。 【綾川町】ワクチン接種が進み、状況を見ながら地域の通いの場やサポーター活動の再開に向けた後方支援を実施する。	
	32	徘徊高齢者保護ネットワーク	徘徊高齢者保護ネットワークによる発見率	徘徊高齢者保護ネットワークに提供された、徘徊高齢者の検索依頼件数に対する発見割合	%	200	200	100.0	行方不明高齢者の全員を発見することを目標としているが、高松市内で発生した、6件の検索依頼のうち6件全てを発見できたことによるもの。	A	B	B			A	A		認知症高齢者の行方不明事案が発生した場合に、警察署や市役所の関係課などの関係機関が連携する「認知症等行方不明高齢者保護ネットワーク」を活用し、より広域で行方不明高齢者の情報を共有化することにより、当該高齢者の早期発見に取り組んだ。令和3年度の連携中枢都市圏域でのネットワーク利用は、0件であった。	【さぬき市】周辺市町との徘徊高齢者保護ネットワークを活用した件数 ・他市町への保護要請依頼 0件 ・他市町からの保護要請受託 0件 【東かがわ市】かがわ高齢者見守りネットワークにより広域的に実施 【三木町】徘徊高齢者保護ネットワークでの検索の実績はない。警察から高齢者を保護した件数が2件あった。 【綾川町】当町のネットワーク(綾川町高齢者声かけ・見守りまちかどほっと歓事業)における徘徊高齢者のメール配信依頼件数は0件であった。また徘徊高齢者位置情報探索システム補助申請は1件であった。	
	33	介護認定審査会事業	介護認定審査会開催件数	原則週2回開催される介護認定審査会開催の開催数(グループ毎の合計)	回	673	532	79.0	目標値の根拠：認定審査会の年間開催予定数を目標値とする。 評価の理由：審査案件数が少ない週は認定審査会が不開催となる合議体も発生するため、目標値を下回った。	A					A	A	A	3町から委託された審査案件全てを認定審査会にて審査・判定し、要件に合致する認定申請については、認定審査会を簡素化して実施した。簡素化の実施により、1回の審査会で審査・判定できる審査案件数が増加したため、認定審査会の年間開催予定数をこれまでより減少させた。 11月に予定していた1市3町連絡会は新型コロナウイルス感染症防止のため、開催中止とした。	【三木町】介護認定審査会開催 51回 【直島町】介護認定審査を依頼。依頼件数は180件。 【綾川町】開催件数・・・51回 審査会委託件数・・・786回	
	(ウ) 福祉	34	自立支援協議会運営事業	全体会開催回数	定期的な情報共有を図るとともに、検討する場として開催している、全体会開催回数を成果指標とする。	回	2	2	100.0	例年通り年2回開催を継続。	A					A	A		・障害福祉施策についての周知を行った。 ・関係機関の連携強化及び相談支援の充実・強化を図るための研修等を行った。 ・専門部会等の運営を行った。 ・その他の相談支援充実・強化を図るための事業を行った。	【三木町】高松圏域自立支援協議会の運営費を負担するなど、運営事業について支援した。 【直島町】コロナの影響でできなかったこともあるが、毎月開催の自立支援協議会運営会議等に随時出席。 年2回の全体会議については、コロナの影響で開催できなかった。
		35	障害支援区分等審査会業務の連携	審査会開催回数	原則毎週水曜日に審査会を開催していることから、開催回数を成果指標とする。	回	50	46	92.0	年間最大50回の開催を継続。	A					A	A	A	・審査会を46回開催し、市と3町の審査について、引き続き連携した。 ・審査件数：高松市902件、三木町63件、直島町4件、綾川町49件	【三木町】審査依頼件数63件 【直島町】障害支援区分の認定調査を依頼。依頼件数は4件。 【綾川町】毎週水曜日開催(8月のお盆の週、年末年始、祝日は休会)
		36	ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	7,000	7,257	103.7	過去の実績等から目標を設定した。 R3年度は、広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努め、目標を達成した。	A	B				B	B		援助活動件数：7,257件 会員養成講座：年間計3回開催、会員スキルアップ講座：年2回開催、会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：30・31号発行	【さぬき市】会員登録者数(おねがい会員244人、まかせて会員150人、どっちも会員7人) 援助活動実績数948件 【三木町】出張登録会等の事業を計画していたが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。 「みき育ぼん」において掲載したり、保育所・幼稚園・学校等にリーフレットを配布し、子育て家庭へ事業の周知を行った。 【綾川町】たかまつファミリー・サポート・センターリーフレットの配布、広報誌への掲載等を通じて、住民への周知を行った。利用者には利用料補助を行った。
	(イ) 教育・文化・スポーツ	37	移動図書館巡回事業	貸出冊数	直島町の巡回ステーション2か所における年間図書貸出冊数	冊	7,000	5,987	85.5	ビジョン最終年度の目標値を前倒しで令和5年度目標値としている。直島町広報紙等による、移動図書館巡回日程等の周知効果が表れてきていると考えられる。	A					A			毎月1回、移動図書館車が直島町内の2ステーションを巡回し、図書館サービスを提供した。 また、コロナ感染対策として、人数制限(8人昨年度は3人)したり、車内では一方通行で歩いてもらうなどの対策を講じた。	【直島町】年間利用者のべ592名 ・同貸出し冊数5,987冊

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和3年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

参考資料2

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)						連携市町評価						令和3年度高松市取組実績	令和3年度連携市町の取組実績			
			KPI	KPI説明	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和3年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町
	38	読書推進ボランティア養成事業	講座受講者数	読書推進に係るボランティア養成講座の年間受講者数	人	120	55	45.8	ボランティア養成講座の各定員の合計人数を目標値としている。これまで個別に実施していた絵本の読み聞かせを行うボランティアのほか、ストーリーテリング等を対象に養成講座を実施した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、前年度と比較し講座回数及び参加者数の減となっている。	C	B	B	C	B	B	C	B	視覚障がい者支援やブックスタート、0・1・2歳の子へのおはなし会やストーリーテリングについて、読み聞かせボランティア等の技術の習得や向上を図るため、連携市町のボランティア(グループ)も参加対象として、講座を2回実施し、55人(広域0人)の参加があった。なお、情報共有として、各市町へ開催報告を行っている。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】研修会の計画をする際の参考や館内で利用者に周知している 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】チラシ頒布 【三木町】町内外に対し情報発信予定であったが、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響にて実施せず。 【直島町】例年実施しているメンバーであるため、研修会等は取り組み実施がなかった。 【綾川町】受講者数 0人。 事業の実績報告及び講座で用いた資料の提供をうけ、図書館へ配布。
	39	帰国児童等支援事業	帰国児童等への日本語指導等対応率	指導を行った件数/指導が必要な帰国児童等	%	200	162	81.0	帰国児童等への日本語指導等に十分に対応でき、児童生徒の円滑な学校生活や学習支援に寄与した。	C							C	近隣自治体と要支援情報等について情報を共有し、支援が必要な児童生徒の対応に生かした。また、近隣自治体にも情報提供を行った。帰国児童等の急な入れ替わりにより、日本語指導者の派遣が難しいものとなった。	【三木町】要支援の情報について、帰国児童等が在籍する学校と適宜情報を共有した 【綾川町】対象児童生徒 小学校1名、中学校1名 週1時間
	40	特別支援教育推進連携事業	相談希望学校等への相談訪問率	相談訪問件数/相談希望校数	%	400	400	100.0	発達障害など、個の教育的ニーズに応じた支援の在り方について相談を希望した学校に、すべて専門指導員等を派遣し、特別支援教育の充実を図ることができた。	A			B	B	B		A	・高松市が中心となって高松地域連携推進協議会を開催し、三木町と連携を図った。 ・特別支援教育の研修会をオンラインで実施し、各市町から約100名が参加した。 ・特別支援教育に関する情報交換を行い、他市町の状況を共有することができた。	【土庄町】高松市が行う特別支援に関する研修会にオンラインで参加し、職員の資質向上に努めた。高松市を中心として、特別支援教育に関し、メールによる情報交換が実施された。 【小豆島町】7月の研修会に特別支援担当の教員7名が研修会に参加した。 【三木町】取組実績なし 【綾川町】全校を訪問した
	41	こども未来館学習体験事業	こども未来館学習参加校数	こども未来館学習参加校数	校	50	45	90.0	【R3年度の目標設定方法】高松市内の小学校と瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校を合わせて、50校としていた。 【目標値に対する実績の理由】R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、16校(市内小学校14校、連携小2校)が中止となったため、実施校は45校となり、目標値を下回った。	A	A		A	B	A	A	C	高松市内の小学校42校(市内小34校、連携小8校)及び高松市内の中学校3校の合わせて45校がこども未来館学習を実施した。	【さぬき市】さぬき市内 小学校1校実施 ・志度小学校 R3年10月21日 4年生(83名) 【土庄町】町内小学校の1校が参加。 【小豆島町】町内の小学校から2校が参加した。 【三木町】新型コロナウイルス感染症のため、小学校4校のうち2校の実施となった。 【直島町】参加者数 20人(児童17人、引率教員3人) 【綾川町】利用校なし
	42	史跡・遺跡の調査研究及び発信	講座等参加者数	圏域内の史跡・遺跡の調査研究について、講座等での成果を紹介し、情報発信を連携して行う。その参加者数	人	1,800	1,636	90.9	連載講座や見学会を開催したほか、市政出前ふれあいトーク等を通じて遺跡の調査研究の情報発信を行った。	B	B	A	C					新型コロナウイルス感染症対策のため、参加定員を抑え、安全対策を講じて実施した。 連載講座の開催 4回 講座や見学会、出前講座の実施 28回 学校出前講座の実施 12回	【さぬき市】山城から出土した遺物についての調査研究を行った。 【東かがわ市】引田城跡啓発事業(引田城ガイド)を実施し、25回323人の参加があった。 【土庄町】連携事業としての実績なし。
	43	高松市埋蔵文化財センターの運営	施設利用者数	埋蔵文化財の調査技術、調査成果等に関する情報交換を行うとともに、埋蔵文化財の情報発信事業(展示等)のための資料の相互貸借を行う。その利用者数	人	1,600	1,331	83.2	企画展や体験講座等を実施して、イベントに参加する機会を設けた。	B	B	A	A	B			B	新型コロナウイルス感染症対策のため、参加定員を抑え、安全対策を講じて実施した。 企画展の開催 2回 企画展講座の開催 1回 夏休み講座の開催 4回 体験講座の実施 1回	【さぬき市】雨滝城跡や勝賀城跡等、各市の代表的なお城を紹介した。 【東かがわ市】本市歴史民俗資料館発行の文化財関連の図書を送付し、文化財に対する情報を提供した。 【土庄町】高松市内の施設に小豆島石に関する資料を展示する運びとなり、資料等の整理を行った。 【小豆島町】展示用パネルの作成 【綾川町】実績なし。
	44	中学校総合体育大会等の連携	中学校総合体育大会等における実施競技数	中学校総合体育大会・中学校新人体育大会における実施競技数に、中学校駅伝競走大会を加えた競技数	競技	18	18	100.0	例年実施している競技の大会を継続して開催することにより、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な生徒の育成を図ることができる。また、新人体育大会、総合体育大会、駅伝競走大会を開催し、部活動等での練習の成果を発揮することができた。	A							A	高松地区総合体育大会、高松地区新人体育大会及び高松地区駅伝競走大会の開催	【三木町】総合体育大会・新人戦に参加した。中学校駅伝競走大会には参加しなかった。 【直島町】・中学校総合体育大会 参加競技数5種目(参加生徒数のべ34人) ・中学校新人体育大会 参加競技数2種目(参加生徒数のべ20人) ・中学校駅伝競走大会 参加なし

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価						令和3年度高松市取組実績	令和3年度連携市町の取組実績					
			KPI	KPI説明	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和3年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町		
(オ) (カ) 地域振興	45	高松市屋島競技場の活用	屋島競技場利用者数	屋島競技場の利用者数(旧屋島陸上競技場閉場前3年間平均値: 62,827人)	人	116,859	99,225	84.9	旧屋島陸上競技場利用者数と比較して、R3年時点で、利用者数の1.86倍(116,859人)を目標とした。新型コロナウイルス感染症の影響により、バラスポーツ体験会等のイベントが中止となったほか、1月から3月まで第2種陸上競技場の公認検定に伴う修繕工事により休場したことから、利用者数は99,225人と目標値比84.9%となった。	B	B	C	C	C	B	C	C	ジャパンパラ陸上競技大会を契機としたバラスポーツ体験会(圏域を含め参加者を募集)を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止された。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】利用実績なし 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】実施なし。 【三木町】チラシ配布等、各種イベントのPRを図った。 【直島町】広報、周知等の取り組みをしないため実施なし。 【綾川町】実績なし。		
	46	地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供	トップスポーツチーム試合観戦者数	地域密着型トップスポーツ4チームのホームゲームにおける観戦者数	人	166,900	36,206	21.7	3ヶ年(H24年度~H26年度)の実績(前年比)の平均値を基に、算出している。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度からこれまでの観戦方法に制限が加わった点等から、いずれのチームの観客数も大幅減となり、香川アイスフェローズは不開催となった。目標値比21.7%。	D	B	A	B	B	B	B	B	圏域内の児童生徒等に、高松市内を拠点に活動している地域密着型トップスポーツチームの試合観戦の機会を提供するため、チーム等との連絡調整及び取りまとめ事務を行った。	【さぬき市】カマタマレ讃岐: ホームゲームでさぬき市民無料招待。 香川ファイアローズ: ホームゲームでハーフタイム抽選会にさぬき市特産物を提供。 【東かがわ市】高松合同カマタマレ讃岐体験会 & 観戦ツアー 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】チラシ等の配布。 【三木町】チラシ配布等、各種イベントのPRを図った。 R1年度にアイスフェローズホームタウンデーを実施したが、新型コロナウイルス感染症によりR2年度(公式戦中止)、R3年度(無観客)となり実施を断念。 【直島町】高松ファイアローズと連携をする予定だったが、日程が合わず実施することができなかった。 【綾川町】実績なし。		
	47	土地利用施策の広域的な連携・推進	-	-	-	0	0	0.0	集約型の都市構造に向けて、特定用途制限地域の見直しなど、広域的な観点から、土地利用施策の連携・推進を行うことで、都市機能や生活機能の集約・強化、居住人口の維持・誘導など、都市圏全体で取り組むことが期待できるため。	A							C	B	連携町が参加する、高松広域都市圏都市交通マスタープランフォローアップ委員会等の各種委員会、会議において本市における都市構造集約化の施策や状況について周知、情報共有をおこなった。	【三木町】広域的な取組みがないため評価なし 【綾川町】実績なし。	
	48	グリーン・ツーリズム等農業振興事業	グリーン・ツーリズム等参加者数	農業体験等のグリーン・ツーリズムを推進し、都市住民との交流促進及び農業所得の向上を図る。	千人	150	145	96.7	OR3年度の目標設定方法: 過去の実績を基に目標値を設定している。 O目標値に対する実績の理由: 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数は低調であった。	B								C	B	H P等によりグリーン・ツーリズムをPRし、農業体験等を通じた圏域住民との交流促進を図った。	【土庄町】連携事業の実施には至っていない。 【小豆島町】県とともにパンフレットを通してグリーン・ツーリズムの推進、情報発信を行った。 【三木町】県とともにパンフレットを通してグリーン・ツーリズムの推進、情報発信を行った。
	49	獣害対策事業	二ホンザルの農作物への被害面積	高松市鳥獣被害防止計画に基づき、二ホンザルの農作物への被害面積	ha	2	0	25.1	OR3年度の目標設定方法: 過去の実績を基に目標値を設定している。 O目標値に対する実績の理由: サルの個体数を減らすことで、農作物被害の減少を図る。効果的な設置と集落による被害防止活動への支援を行い、一定の効果が得られた。	D								B		サルの出没情報を共有し、出没頻度の高い地域に集中的にわなを設置した。これによりサルを16頭捕獲した。	【三木町】二ホンザル出没場所等の情報共有を行った。
	50	産学官連携推進事業【再掲】	大学及び企業等との連携事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業等との連携事業数	事業	165	226	137.0	大学等との連携・協力事業数及び包括連携協定を締結する企業等との連携事業数の合計とし、R5年度までに170事業を目指す。 R3年度は、新型コロナウイルス感染症の対策に配慮しつつ、目標を達成した。	A	B	B	C	C	A	C	C	B		新型コロナウイルス感染症の影響により、連携事業の約3割が十分に実施できなかった。また、新たな包括連携協定に向けて、2者と協議・調整を行った。 包括連携協定締結後、各連携事業が形式的に実施されたり、終了されたりするなどの課題もある。	【再掲のため省略】
	51	生涯学習推進事業	生涯学習コーディネーター養成講座参加人数	本市がほぼ毎月開催している生涯学習コーディネーター養成講座への年間参加延べ人数	人	480	201	41.9	R3年度目標: 各コミュニティセンターから462人、土庄町、小豆島町各1人×9回出席=18人の合わせて480人を目標としたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部講座を開催できなかったことにより、各コミュニティセンター、連携町からの参加者数が少なかったため目標に達しなかった。	D								B	B	生涯学習コーディネーター養成講座を、年間6回実施し、連携町である2町に対して参加を依頼したが、参加者は0名であった。また、生涯学習センターで実施している講座を掲載している「まなびかんづめ」を連携町に送付し、連携町の周知等を依頼した。	【土庄町】各種講座について、情報共有・周知活動をすることができた。 【小豆島町】実施なし。
	52	男女共同参画センター学習研修事業	学習研修事業参加者数	学習研修事業に参加することによって、男女共同参画に関する意識が啓発される可能性が高いため。	人	1,200	1,064	88.7	R3年度は、これまでの実績と新型コロナウイルスの影響も勘案して目標値を設定。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、約90日間の休館日があり、中止となった講座もあったことから、目標を達成できなかった。	B								C	B	新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、男女共同参画センターに対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、オンラインを活用する等工夫をしながら、各種セミナー・講座を実施した。 O学習研修事業 全43回	【土庄町】各種講座について、住民に周知した。 【小豆島町】実績なし 【綾川町】参画センターだよりを掲示。

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価							令和3年度高松市取組実績	令和3年度連携市町の取組実績	
			KPI	KPI説明	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和3年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町
(キ) 災害対策	53	災害時相互応援協定	-	-	-	0	0	0.0	0	A	A	A	A	A	A	A	0	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。 【土庄町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【小豆島町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【三木町】圏域市町に大規模な災害が発生していないため、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 【綾川町】圏域内に大規模災害が発生していないため実績はないが、平時から連携を図り、災害発生時に円滑な対応ができるよう備えた。
	54	香川県消防相互応援協定	-	-	-	0	0	0.0	0	A	A	A	A	A	A	A	0	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】大規模災害がなく相互応援は行っていない 【土庄町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【小豆島町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【三木町】圏域市町に大規模な火災が発生していないため、実績はないが、消防相互応援体制を維持し、不足の事態に備えた。 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 【綾川町】相互応援協定を活用するような事例がなかったため、特になし。
	55	高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	-	-	-	0	0	0.0	0	A					A	A	0	【三木町】本協定に定める緊急事態が発生していないため、実績はない。 【綾川町】協定を活用するような事例がなかったため、特になし。
	56	消防業務の事務委託	-	-	-	0	0	0.0	0	A					A	A	0	受託町における消防行政を円滑に実施するとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進した。 火災 三木町 4件 綾川町 4件 【三木町】を委託している常備消防業務（火災出場、救急出場等）が適切に執行され、住民の安心・安全に寄与した。 【綾川町】常備消防事務委託
	57	地域防災対策事業	訓練等に参加した自治体数	災害時の通信方法の確認のため、防災行政無線等を活用した通信訓練を行い、相互の応援要請や被害状況等の把握を行う。	自治体	8	8	100.0	目標値の根拠：圏域7市町と、災害時の通信方法を確認するため。 評価の理由：本市主催で開催した市民防災講演会を新型コロナウイルス感染症対策としてWEB参加も可能としたことで、圏域7市町に参加いただき、地域防災に活かしていただいた。また、その後開催した情報交換会も会場とWEB併用で開催し、各市町が抱える課題について、情報共有を図ることができた。また、顔の見える関係を築けたことで、連携強化が図れた。	A	B	B	A	A	A	B	B	0
(ク) 環境	58	一般廃棄物の処理・処分に関する業務	-	-	-	0	0	0.0	0	A						A	綾川町から委託を受け、西部クリーンセンターにおいて、綾川町の区域から排出される一般廃棄物を約5,219t（し尿及び浄化槽汚泥を除く。）の中間処理（焼却、破碎）を行った。また、高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物を中間処理した後に生じる残さの埋立処分に関する業務を綾川町に委託し、焼却灰を約2,094tを綾川町一般廃棄物最終処分場へ搬出した。 【綾川町】綾川町から排出される一般廃棄物を高松市西部クリーンセンターにて中間処理（焼却・破碎処理）を継続して実施。 また、高松市西部クリーンセンターから排出される高松市国分寺町分の焼却灰を綾川町一般廃棄物最終処分場にて埋立処理を継続して実施。	

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価						令和3年度高松市取組実績	令和3年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和3年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町
	59	し尿処理に関する業務	-	-	-	0	0	0.0	住民の安全な生活と環境を守るため、し尿処理施設を持たない三木町及び綾川町から排出されたし尿及び浄化槽汚泥の処理を行うことは、住民ニーズ及び社会情勢上妥当であると判断するが、義務的事業である側面が強く、毎年度同程度で推移しているため。令和4年度処理計画量については、区域内処理人口から算出している。	B							三木町・綾川町から排出された、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。また、本市と綾川町が共有している国分寺町し尿貯留槽の管理を綾川町に委託した。処理実績 63,368kℓ (内訳) し尿 浄化槽汚泥 計 三木町 1,573kℓ 6,041kℓ 7,614kℓ 綾川町 1,151kℓ 3,592kℓ 4,743kℓ 高松市 10,131kℓ 40,880kℓ 51,011kℓ 計 12,855kℓ 50,513kℓ 63,368kℓ	【三木町】三木町内で排出されたし尿・浄化槽汚泥の処理を実施。処理実績 7,614kℓ (し尿1,573kℓ、浄化槽汚泥6,041kℓ) 【綾川町】当該施設の、よう壁破損部分の修繕工事の予算要求用の現地踏査などを実施
	60	環境学習等推進事業	環境学習講座参加者数	環境学習講座（環境ワークショップ）、出前講座及び自然観察体験事業の参加者数の合計	人	2,350	1,058	45.0	瓦町FLAGの市民活動センターで講座を実施するなど参加しやすい環境で、参加者数の増加を目標とする。そして参加者数から環境意識の向上を判断する。	C	B	C	C	B	A	B	4、8、9月にかけては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの講座が中止となり、また出前講座の主催者が参加人数を制限したため、講座参加者数は前年を上回ったものの、目標値には達しなかったが、参加した市民を通して環境意識の向上は図られている。	【さぬき市】緑のカーテンコンテストパネル展を実施した。 【東かがわ市】ごみの減量化に係る出前講座 1回 【土庄町】関係団体等と協議。イベントについては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため募集等はけなかった。 【小豆島町】圏域内の連携行動は特になし。 ※小豆島町が独自に整備した充電施設などの保全に努め、当分のあいだ無償利用とすることで、電気自動車の普及を促進。 【三木町】新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため中止とした。 【直島町】直島小学校環境教室を年3回開催した。 (干潟観察・アマモ見学、ハマチ・海苔の養殖見学、海苔漉き体験) 【綾川町】水生生物調査に合計56人が参加した。
	61	環境負荷の少ない自動車の普及促進	電気自動車の普及台数	環境に負荷の少ない電気自動車を多くの住民に周知することにより、自動車の新規購入や買換えの際における電気自動車購入の意識付けを行う。また、急速充電器の管理・運営を行うとともに、充電設備の設置状況の情報提供を行うことなどにより、電気自動車の普及を図る。	台	816	379	46.4	過去の電気自動車保有台数（実績）の平均増加率と同程度の増加分が今後も継続するものとして目標値を算出。達成率は46.4%で伸び悩み傾向にあるが、保有台数は例年増加する傾向にある。	C	C	C	B	B	C	C	環境展及びSTOP!地球温暖化展で電気自動車等次世代自動車普及啓発パネルを展示し普及啓発を図った。また、車体をラッピングした公用電気自動車を市内走行させPRするとともに、走行実績に伴う温室効果ガス削減量の情報をホームページに掲載した。さらに、市が市内道の駅等3か所に設置した急速充電器の情報発信と運営管理を行った。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】市独自の取り組みがなく、高松市実施の事業への参加も行っていない 【土庄町】クールチョイスにより、電動キックボードの試乗会を実施。 【小豆島町】拠点2か所でのボックス回収を実施し、回収実績は0.08t。 【三木町】実施なし 【直島町】町が率先して、電気自動車の使用を行い住民に啓発活動を行った。 【綾川町】取り組み実績なし
	62	小型家電等リサイクル推進事業	年間回収量	市が実施するボックス回収・ピックアップ回収・イベント回収により回収された使用済小型家電の総量	トン	15	27	178.5	市民への周知・啓発活動を行い、使用済小型家電の回収量増加と循環型社会の意識の啓発につなげる。 回収目標については、R6年度の目標を5トン（市民一人当たり約20g）と設定し、令和3年度の目標は4トンと設定している。 令和3年度は、回収対象品目を新たに11品目追加し32品目へ増やし引き続き市民への周知・啓発活動に努めたことから前年度より回収量が増加した。	A	B	B	B	B	A	A	引き続き、市内23か所でのボックス回収、ピックアップ回収、イベント時の回収を行う。 ・「小型家電等リサイクル推進事業担当課長会」は、新型コロナウイルス感染症対策のため開催せず、連携市町の実績調査と結果をフィードバックし、情報共有を行った。	【さぬき市】市役所本庁舎及、総合支所及び出張所の計4か所においてボックス回収を行い、合計446kgの回収があった。 【東かがわ市】拠点3か所でのボックス回収を実施し、回収及び周知を行っている 【土庄町】回収は行ったが、量が少なかったため、R3年度については、輸送していない。 【小豆島町】拠点2か所でのボックス回収を実施し、回収実績は0.08t。 【三木町】町内2か所に小型家電回収ボックスを設置して回収した回収量 444kg 【直島町】ピックアップ回収年間総量9.6トン 【綾川町】回収量1,180kg (参考：R2年度2,160kg)

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)						連携市町評価						令和3年度高松市取組実績	令和3年度連携市町の取組実績			
			KPI	KPI説明	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和3年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町
	63	不法投棄対策事業の推進	不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加者数	各市町が連携して地域住民及びボランティア参加のクリーン作戦を実施することで、地域の環境美化と不法投棄撲滅に対する意識啓発を図る。	人	3,600	0	0.0	毎年実施している不法投棄撲滅クリーン作戦の参加者数を目標値として設定している。しかしながら、R3に関してはすべてのクリーン作戦が新型コロナの影響により、中止になったため、参加者は0人である。なお、地域一斉清掃という形での地元による不法投棄対策は一定程度進んだ。	D	B	B	B	A	A	B	新型コロナの影響により、全6クリーン作戦を中止した。	【さぬき市】清掃活動を行う団体に対し、ごみ袋の支給、清掃用具の貸し出し及びごみの回収等の支援を行い、延べ約7,300人が環境美化活動に参加した。 【東かがわ市】情報交換会 1回 市環境美化促進員によるパトロール5回(3地区) 海岸・河川清掃を実施 不法投棄情報をHPに公開 ボランティアによる清掃活動支援 【土庄町】例年行っている近隣市町村と協力した、同時開催による不法投棄撲滅を目的とした土庄港周辺のクリーン作戦については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。 また、各自治会ごとに定期的な海岸清掃活動については実施できず、継続的なパトロール等を行い、不法投棄が発生した場所を監視していきたい。 【小豆島町】情報交換 = 1回/年 クリーン作戦等の行事は、それぞれの連携市町が単独で実施。 不法投棄された廃棄物は町独自で処分。 【三木町】新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため中止とした。 【直島町】町内一斉清掃“ごみ0”クリーンデー 参加者約500名、回収ゴミ3.7トン 8~2月(月2回)重点海岸漂着物 回収延べ46名、回収1.7トン 【綾川町】5月綾川町クリーン作戦(開催日は各自治会に日を決めて実施してもらった。 集めたごみは各自治会の家庭ごみ収集の日に回収 不法投棄場所への効果的な看板の設置を実施 1月 エアポートクリーン作戦 中止 3月 綾川河川清掃 中止	
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(ア) 地域公共交通	64	ICカードを利用した公共交通利用促進事業【再掲】	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、ICカード「IruCa」を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	2	3	150.0	周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。 R3年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	A	B	B	A	A	A	R3年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【再掲のため省略】	
		65	コミバス等へのIruCa導入事業	コミバス等へのIruCa導入事業参加自治体数	取組の目的は、ICカード「IruCa」による各種割引サービスの適用を受けることができるよう、コミバスにシステムを導入し、利便性の向上を図るものであり、施策の参加自治体数を増やす。	自治体	2	2	100.0	毎年1自治体追加することを目標として設定した。 R3年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有した。	A	B	A	A	A	B	R3年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】圏域内での活用状況等について協議し、コミュニティバス導入に係る費用対効果を検討した。 【土庄町】IruCa搭載型のコミバスを導入した。(R3.10.20より運行開始) 【小豆島町】小豆島オーブバス及び町営バスにおいて、「IruCa」に加えて、「10カード」を導入した。 【三木町】ICカード導入に向けた協議及び導入することができた。 【綾川町】綾川町地域公共交通計画を策定するための基礎調査事業を実施した。	
		66	地域公共交通再編事業	圏域市町と高松市をアクセスするバス路線数	取組の目的は、連携市町と高松市間の公共交通によるアクセス手段を確保することにより、公共交通の利便性向上を図るものであり、自治体を繋ぐバス路線数を増やす。	路線	3	3	100.0	周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。 R3年度は、事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	A	B	B			A	B	R3年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】公共交通ネットワーク、特にバス路線のあり方や、タクシーの活用方法について協議した。 【東かがわ市】東かがわ市地域公共交通計画を策定。 コロナウイルスの影響等もあり広域的な連携に向けた中枢市との協議等は行っていない。 【三木町】広域的な公共交通ネットワークの構築に向けた担当者間で協議。 【綾川町】綾川町地域公共交通計画を策定するための基礎調査事業を実施した。
(イ) ICTインフラ整備	67	データ利活用型スマートシティ推進事業【再掲】	連携して収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	IoT共通プラットフォームを活用して、各市町と連携し、収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	分野	2	1	50.0	R5目標である4分野に対し、R1・2年度は1分野、その後1分野/年ずつ連携する分野を追加していく計画で目標を設定。	A	B	A	D	B	B	C	A	本市のIoT共通プラットフォーム(FIWARE)の共同利用について、綾川町と締結している協定に基づき、R2年度に引き続き防災分野において、水位計データや降水量データ等の共有・可視化等を実施中。(なお連携中枢都市圏以外で観音寺市とも共同利用を実施中。)	【再掲のため省略】
	(ウ) 道路等の交通インフラの整備・維持	68	橋りょう改築修繕事業	-	-	-	0	0	0.0		0	B	C	A	C	B	B	橋りょう長寿命化修繕計画について、香川県内の道路管理者等で構成される「道路メンテナンス会議」を通して点検状況の報告を行い、圏域全体での情報共有を図った。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】具体的な連携は行われていない。 【土庄町】道路管理者として橋梁の点検を近接目視により5年に1回の頻度で行うことになっており、昨年はコンサルタント委託にて5橋の調査を行ったが、特に高松市と連携して行う条件が無かったため、連携した取組実績はなかった。 【小豆島町】道路メンテナンス会議に出席して情報共有を行った。 【三木町】「道路メンテナンス会議」にて情報共有を行った。 【直島町】前年度の点検結果を踏まえ、修繕等はなかった。 【綾川町】道路メンテナンス会議に出席。

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)							連携市町評価						令和3年度高松市取組実績	令和3年度連携市町の取組実績
			KPI	KPI説明	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成率	令和3年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町		
	69	道路新設改良事業	-	-	-	0	0	0.0	0	B	A	C	B	B	行政区域界での生活道路(市道)の新設改良工事について、該当がなかった。	【さぬき市】取組実績なし。 【土庄町】道路管理者として必要な町道の新設や改良工事を行ったが、特に高松市と連携して行う案件が無かったため、連携した取組実績はなかった。 【三木町】行政区域界における市道・町道の新設改良工事がなかったため、実績なし。 【綾川町】実績なし。	
(イ) 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	70	ブランド農産物育成支援事業【再掲】	たかまつ食と農のフェスタにおける出展者販売額	たかまつ食と農のフェスタを開催し、連携市町からも出展してもらい、地域の特産物のPR及び販売促進を図る。	千円	9,000	0	0.0	OR3年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。	B	C	C	B	B	R3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、たかまつ食と農のフェスタの開催は休止した。	【再掲のため省略】	
(オ) 地域内外の住民との交流・移住促進	71	自然体験等を通じた住民の交流の促進	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトへのアクセス数	イベント情報を掲載する瀬戸・高松広域連携中枢都市圏のホームページのアクセス数	件	4,500	4,909	109.1	H29年度実績(訪問者数)をベースに、圏域人口(ビジョン目標)の1%を最終年度の目標とし、漸増を目標とする。 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による移動制限がかかるなどの理由で、アクセス数が目標値を超えなかったが、令和3年度は、目標値を超えた。これは、新しい生活様式が定着してきているものと考えている。	A	B	C	C	B	C	H28年度に構築した、ポータルサイトについて、適切な保守・管理を行いながら、都市圏ビジョンに基づく取組や本市及び連携市町の魅力の発信を予定していたが、新型コロナウイルスの影響によりイベント等が中止となるものもあったが、新しい生活様式が定着してきたのか、3密を回避したり、規模を縮小するなど工夫したことで目標値を超える結果となった。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】市内団体の自主的な取組を支援したが、新型コロナウイルスの影響でイベントの中止が多かった。その一方で新たなイベントの開催も支援した。 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】取り組み実績なし。 【三木町】自然体験に特化したイベントは未実施であるが、今後開催する際には情報発信で周知を行う。 【直島町】コロナの影響もあり、イベントが中止になったため、イベント情報の掲載ができなかった。 【綾川町】新型コロナウイルスの感染拡大のため、旅行者が大幅に減り、都市部からの交流にはつながらなかった。
	72	移住・交流促進事業	圏域市町全体の社会増減	移住促進策の実施に伴う、圏域全体での社会増減数	人	1,100	-259	-23.5	第2期たかまつ創生総合戦略に基づき、目標を設定。 県外への転出超過が続いており、令和3年は、平成19年以来の社会減に転じている。	D	B	A	B	A	A	「瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンター」における相談対応やセミナー開催を通じて、圏域内への移住促進を図ったほか、大阪市内に同センターの大阪サテライトを設置し、関西圏における相談体制を強化した。また、香川県移住・定住推進協議会の構成市町として、オンライン移住フェアに参加した。	【さぬき市】移住フェアに参加した。 【東かがわ市】県移住・定住推進協議会主催オンライン移住フェア 1回(相談件数 1件) 実施圏域独自の移住セミナー・相談会 各1回 【土庄町】空き家バンク、島暮らし体験の家の運営、オンラインでのセミナー・フェアへの参加などの移住促進策に取り組んだ。(実績：Iターン 125組 170人、Uターン62組 80人) 【小豆島町】小豆島町移住者数(Iターン)141人(Uターン)95人 オンライン移住相談会 年7回 オンライン移住セミナー 年4回 オンライン移住フェア 年1回 【三木町】暮らしと仕事相談会 参加(オンライン) 小豆島合同 相談件数4件 直島合同 相談件数3件 【直島町】オンライン移住フェア 1回 オンライン移住セミナー 1回 オンライン移住・就職相談会 1回 【綾川町】瀬戸・たかまつネットワークセミナーへの参加を通じて他市町との連携を図ることができた。 また、瀬戸・たかまつキャリアサポートセンターを通じたオンライン移住相談会を積極的に開催した。
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	73	人材育成事業、合同研修等の実施	合同研修の開催回数	合同研修の機会を増やし、圏域自治体職員の能力向上及び市町域をまたいだ交流や連携を図るため。	回	5	4	80.0	人材の育成・交流及び圏域のマネジメント能力の向上を図ることができる研修を合同で実施する。R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、女性職員エンパワー研修を実施することができなかった。有効性・効率性の面においては、各市町から要望を聞きできる限り多くの職員に参加してもらえようとした。	B	B	B	A	A	A	実践的政策形成能力を高めるための研修を始め、行政環境の変化に対応できる幅広い視野を養うための教養講演会を合同で実施し、圏域内市町職員の能力・資質の向上を図った。 【開催回数】・業務改善能力向上研修 1回 ・OJT研修 1回 ・手話技術研修 1回 ・キャリアデザイン&モチベーションアップ研修 1回	【さぬき市】令和3年度については、研修参加者なしであった。 【東かがわ市】参加者なし 職員からはコロナ禍での市外での集合研修参加を心配する声もあり、参加には至らなかった。 【土庄町】合同研修に参加した。 【小豆島町】1回の研修に1名が参加した。(参加予定の女性職員エンパワー研修は中止) 【三木町】一般職員第Ⅱ部研修(業務改善)及び手話技術研修(手話に関する基礎知識、手話技術等)、係長職員研修(OJT)に各1名参加。 【直島町】コロナの影響もあり、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏講演会が開催されていないため、参加できていない。 【綾川町】一般職員第Ⅱ部研修(業務改善)及び係長職員研修に各1名参加。
	74	地域コミュニティ人材養成事業	講演会・講習会の参加者数	地域のリーダー養成を目的として実施している人材養成事業の参加者が増加することで、地域コミュニティの自立と活性化が図られる。	人	150	0	0.0	前年度と事業形態に変更が無いため、前年度目標値及び実績を基に設定。	D	B	B	B	B	C	講演会等の内容、それに伴う講師の人選等について検討するため、大学講師との協議も行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した。	【さぬき市】市政懇談会については、昨年に引き続き規模を縮小して実施した。 【東かがわ市】講演内容の調整を行い、開催に際しては地域コミュニティ協議会等への周知を行った。 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】研修に1名参加した。(参加予定の女性職員エンパワー研修は中止) 【三木町】参加希望なしのため、実績なし。 【直島町】新型コロナウイルスの影響等で講演会・講習会が中止となったため、参加できなかった。 【綾川町】新型コロナウイルス感染拡大により参加できていない。